

飛驒の糸引き工女



- 公文書から読み解く飛驒の糸引き工女の姿 -



岡谷蚕糸博物館提供

明治から昭和にかけて、飛驒から出稼ぎに出て日本の製糸業に貢献した「飛驒の糸引き工女」の活躍を紹介します。工女たちを守るために各町村では工女組合が組織されていました。資料から判明することについて飛驒市の調査員が解説します。ぜひご参加ください。

令和8年 9月25日【金】

時間 19:00～20:30 (30分前受付開始)

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

定員 100名 (申込不要)

会場 飛驒市役所 西庁舎3階 大会議室
〒509-4292 飛驒市古川町本町2番22号

問合せ先 飛驒市教育委員会文化振興課
(TEL:0577-73-7496)

講師

Norihiro Tabata

田端 徳弘 調査員

飛驒市歴史文化調査室

令和元年以降、小鷹利村に残されてきた歴史的公文書を中心に飛驒の糸引き工女について調査。令和4年発刊『飛驒の引き工女調査報告書』を執筆。

現在、飛驒市に残されている歴史的公文書の調査整理作業を担当。